



クリーン開発と気候に関する アジア太平洋パートナーシップ

はじめに

クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップは、総計で世界の経済、人口、エネルギー使用の半分以上を占めるオーストラリア、カナダ、中国、インド、日本、韓国、米国のアジア太平洋主要7カ国の集いである。パートナー諸国は、増大するエネルギーに対するニーズとそれに付随する大気汚染、エネルギー安全保障、気候変動の問題に対処する努力において協力している。

画期的な官民合同の努力であるアジア太平洋パートナーシップは、経済開発を促進し、貧困を撲滅し、よりクリーンで効率的な技術の開発・普及を促進するような手法で、これらの目標を達成するために設立された。

パートナーシップは、既存の二国間及び多国間イニシアチブの上に構築されており、京都議定書を補完しつつ、国連気候変動枠組条約の下でのパートナーの努力に整合・貢献するものである。

パートナーシップの焦点

パートナーシップは、行動計画を開発・実施するため、8つの官民合同タスクフォースを発足させた。タスクフォースは、アルミニウム、建物及び電気機器、セメント、石炭鉱業、鉄鋼という5つのエネルギー集約型産業部門と、よりクリーンな化石エネルギー、再生可能エネルギーと分散型電源、発電及び送電という3つのエネルギー供給産業部門に取り組む。

パートナーシップ活動

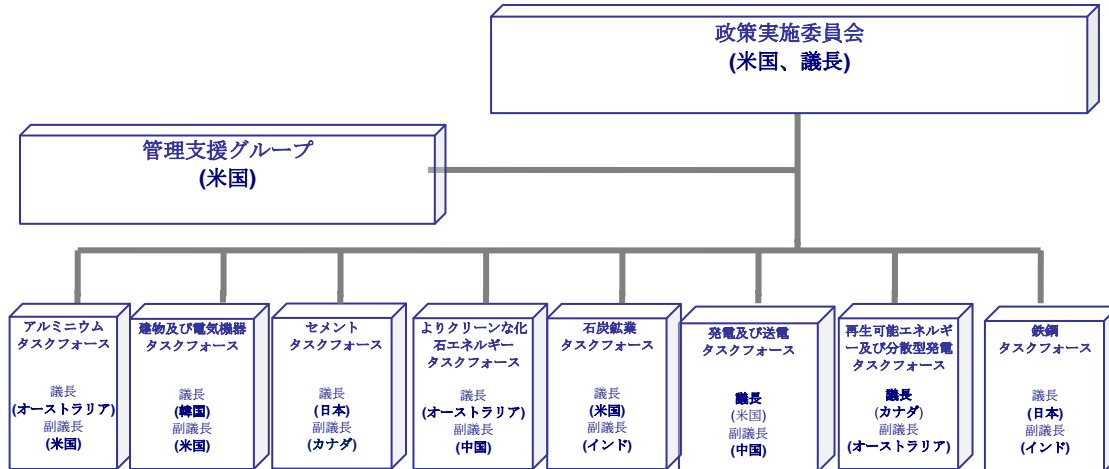
アジア太平洋パートナーシップの作業は、広範囲な活動を対象としている。パートナーシップ・プロジェクトの初期ポートフォリオは、産業部門評価、能力構築、ベストプラクティスの特定、技術研究及び実証などの活動に重点を置いている。

パートナーシップの作業の実例としては以下のようなものがある：

- アルミニウム生産におけるボーキサイト残留物の管理
- エネルギー効率の高い照明の標準化のための協力
- セメント窯における廃棄物の燃料への転換
- 石炭を燃料とする火力発電所用の炭素捕捉技術の改善
- 石炭鉱業の保健・安全戦略の開発
- 発電におけるベストプラクティスの共有
- 太陽熱発電展開の促進
- よりクリーンな鉄鋼技術活用の増大

組織構造

政策実施委員会は、パートナーシップ全体を監督し、タスクフォースを指導し、その活動を定期的に検討する。管理支援グループは現在米国が主催しているが、PICとパートナーシップを幅広く支援する。タスクフォースは、官民協力を監督する議長と副議長により主導される。



背景

アジア太平洋パートナーシップは、2005年7月に、ラオスのビエンチャンでの第38回ASEAN 閣僚会議で発表された。パートナーシップはその後、オーストラリアのシドニーにおける2006年1月の創設閣僚会議で正式に発足した。シドニーでは、閣僚は、憲章、コミュニケ、作業計画に関して合意した。

2006年4月に、政策実施委員会 (PIC) は、米国のパークレーでタスクフォースとともに会合を行った。タスクフォースは、優先課題を確認し、テーマ分野における行動計画の開発する作業を開始した。

2006年10月の韓国の済州島でのPIC第2回会合で、パートナー諸国は、100件近い個別の関連プロジェクト、活動を含む8つの行動計画を承認した。

タスクフォースは活動の実施段階を開始し、定期的に会合した。2007年7月の日本の東京におけるPIC会合では、タスクフォースはその作業を報告し、PICは新しいプロジェクトを承認した。2007年10月のニューデリー閣僚会議では、閣僚はカナダを第7番目のパートナーとして歓迎し、行動計画と100件以上の関連プロジェクト、さらに18件の最重要プロジェクトを

認定し、アジア太平洋エネルギー技術協力センターを発足させた。

2008年5月、PIC 諸国は米国のシアトルで会合した。シアトルでは、かなり実施段階に進んでいるタスクフォースはその作業の状況報告書を発表した。カナダのバンクーバーでの2008年10月のPIC会合で、APP 利害関係者はそれぞれの見解と展望を分かち合い、PICは1件の最重要プロジェクトを含む新しいプロジェクトを支持した。

2009年5月のオーストラリアのゴールドコーストでのPIC会合では、それぞれの作業を完遂するべく定期的に会合を続けていたタスクフォースは、最新の進捗状況を提供し、PIC 諸国はAPPの今後の方向性について話し合い、1件の最重要プロジェクトを含む追加プロジェクトを承認した。

パートナーシップ、今後の行事、参加方法についての詳細情報には www.asiapacificpartnership.org をご覧いただくか、管理支援グループ APP_ASG@state.gov 宛までご連絡ください。